

大阪公立大学医学部医学科

令和 8 年度 保健所・保健福祉センター実習

1) 目的

我が国では、「地域保健法」に基づき、公衆衛生の第一線機関として保健所および保健センターが整備されている。本実習では、保健所活動の概要を理解し、大阪市各区保健福祉センターで展開される個別活動を実地に見聞きすることにより、本市における公衆衛生行政の実際を学ぶ。

【学生の到達目標】

- 保健所と保健センターが担う役割を説明できる。
- 大阪市保健所および大阪市各区保健福祉センターで展開される事業や活動内容を説明できる。
- 関係機関との連携体制のもとで実施される地域保健・福祉対策について説明できる。
- 医療と保健の連携の重要性、公衆衛生分野において医師が担う役割、多職種連携の必要性について説明できる。

2) 実習内容

1 保健所活動の概要（学内にて講義、半日）

保健所の責務、設置主体、事業、および大阪市の体制などに関する講義。

2 保健福祉センターにおける個別活動の学習（各区保健福祉センターにて実習、2日）

保健福祉センターで実施される活動について、見学、講義など。

各区保健福祉センターに、第6学年の学生4～5名が2日間訪問させていただきます。

なお、各区で学習させていただいた内容を学生間で共有し、理解を深めるために、実習成果報告会〔学内にて1日、学生による自主発表形式〕を行います。